

就任のごあいさつ



美郷町長

松田 知己

このたび、多くの方々からご支

持を賜り、初代町長に就任させて

いただきました。改めて責任の重

さを痛感し、美郷らしい町づくり

への決意を新たにしているところ

です。

さて、皆さんご承知のとおり、

平成の大合併は地方分権社会や少

子高齢化社会に対応しながら、行

財政を効率化させていくなどの目

的を有しております。誕生して

一ヶ月が経過した私たちの美郷町

ももちろん、その目的を達成させ

なければなりません。

一方、町民の皆様が引き続き安

心や誇りを感じながら生活を継続

できるよう、質の高い教育の実現

をはじめ、福祉制度や生活基盤の

充実、農業・商工業の振興など、

より一層の住み心地の良さを向上

させていくことも必要です。

そのためには、まずは旧三町村

の融和、一体化への努力を重ねる

とともに、それぞれの地域の歴

史、伝統、文化を尊重し、特徴を

生かしながらバランスのとれたま

ちづくりを進めていく視点が大切

であると私は考えております。

そして、合併時に策定した新町

建設計画の基本理念「協働し、高

めあうまち」、個性を活かし、

あたらしさと深さを求めるま

ち」、「自然とのつながりを大切

にし、創造性あふれるまち」の実

現のため、町民の皆様とともに夢

あふれる地域づくりに取り組み、

三町村が合併して良かったと言っ

てもらえるよう、住民の目線を大

切に町民の声を反映する町政運営

を心がけていきたいと思っております。

これからの四年間、微力ではあり

ますが、皆様からの大きい信頼と期

待をしっかりと受け止めさせていた

だき、美郷町発展のために「融和と

前進」をキーワードに全力投球で取

り組ませていただく所存であります

ので、皆様の一層のご指導、ご鞭撻

をお願い申し上げます、町長就任のごあ

いさつといたします。

投票率は八六・七四%

美郷町初の町長選挙

美郷町の初代町長を決める町長選挙は十一月二十三日に告示され、同月二十八日に投票が行われました。

今回の町長選挙には、藤嶋長右工門氏(美郷町本堂城回)と松田知己氏(美郷町金沢西根)の二人が立候補し、松田氏が一万百五十二票を獲得して当選を果たしました。

なお、任期は、平成十六年十一月二十八日から平成二十年十一月二十七日までの四年間です。



町内二十五カ所で投票が行われる



投票は二十八日、午前七時から午後六時まで、町内二十五カ所で行われました。

美郷町の初代町長を決める選挙とあって町民の関心は高く、投票率は八六・七四%と高いものとなりました。

一方、投票日前でも直接投票箱に投票できる期日前投票には、二十四日から四日間で二千三百九十九人の

多くの町民が開票作業を見守る

町民が訪れ、投票。最終的には、全体の投票率の約十二%を占めました。



また、開票作業は同日、午後七時三十分から町総合体育館アスパルで行われ、多くの町民が票の行方を見守るのを見て見守りました。

〈投票の結果〉

- 当日の有権者数 19,495人
(男9,119人、女10,376人)
- 投票者数 16,910人
(男7,768人、女 9,142人)
- 投票率 86.74%
(男85.18%、女 88.11%)

〈開票の結果〉

(届け出順、敬称略)

藤嶋 長右工門 6,655票
松田 知己 10,152票

投票者数	16,910人
有効投票	16,807票
無効投票	102票
得票総数	16,909票
持ち帰り	0票
不受理	1票

選挙の翌日午前十時に初登庁



選挙から一夜明けた二十九日、初代・美郷町長となった松田氏は、町長室のある町役場六郷庁舎に初登庁。玄関前に並んだ職員に拍手で迎えられ、女性職員から花束を手渡されました。

その後、町長室のいすに腰を下ろした松田町長は、詰めかけた報道各社の取材に応じ、抱負を語りました。

また、午後からは仙南庁舎、千畑庁舎、六郷庁舎の順で各庁舎を回り、職員に訓示。「一つ一つの取り組み、一人ひとりの要望に公平性を持って、誠実に、そして展望をもってあたってほしい」「公務員としての誇りではなく、美郷町職員としての誇りをもって仕事に取り組んでほしい」「美郷町をみんなでいい町にしましょう」などと呼びかけました。